

第27回

The 27th Annual Meeting of the Japanese Neuropsychiatric Association

日本神経精神医学学会 学術集会

プログラム・抄録集

前頭葉性行動障害について

会期 [ライブ上映]
2022年10月14日金・15日土

[オンデマンド上映]
2022年10月18日火～10月31日月

会場 完全Web開催

会長 下村 辰雄
秋田県立リハビリテーション・精神医療センター病院長

第27回 The 27th Annual Meeting of the Japanese Neuropsychiatric Association

日本神経精神医学会 学術集会

プログラム・抄録集

前頭葉性行動障害について

- 会期 [ライブ上映]
2022年10月14日金・15日土
[オンデマンド上映]
2022年10月18日火～10月31日月
- 会場 完全Web開催
- 会長 下村 辰雄
秋田県立リハビリテーション・精神医療センター病院長

第27回 日本神経精神医学会学術集会 事務局

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

事務局担当：高橋 敏弘(医療相談連携室)

〒019-2492 秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田352

TEL: 018-892-3751 E-mail: jna27@akita-rehacen.jp

日本神経精神医学会 歴代会長〈開催地〉

第 1 回 (1996 年)	小坂 憲司 (横浜市立大学医学部精神医学教室)	横浜
第 2 回 (1997 年)	佐藤 甫夫 (千葉大学医学部精神医学教室)	千葉
第 3 回 (1998 年)	武田 雅俊 (大阪大学医学部精神医学教室)	大阪
第 4 回 (1999 年)	浅井 昌弘 (慶應義塾大学医学部精神神経科学教室)	東京
第 5 回 (2000 年)	三好 功峰 (兵庫県立高齢者脳機能研究センター) — 第 3 回国際神経精神医学会合同開催 —	京都
第 6 回 (2001 年)	三山 吉夫 (宮崎医科大学精神医学教室)	宮崎
第 7 回 (2002 年)	遠藤 俊吉 (日本医科大学精神医学教室)	東京
第 8 回 (2003 年)	田邊 敬貴 (愛媛大学医学部神経精神医学教室)	愛媛
第 9 回 (2004 年)	前田 潔 (神戸大学大学院医学系研究科精神神経科学)	神戸
第 10 回 (2005 年)	加藤 進昌 (東京大学大学院医学系研究科臨床精神神経科学)	東京
第 11 回 (2006 年)	守田 嘉男 (兵庫医科大学精神科神経科学教室)	神戸
第 12 回 (2007 年)	岩田 誠 (東京女子医科大学神経内科)	東京
第 13 回 (2008 年)	地引 逸亀 (金沢医科大学精神神経科学)	金沢
第 14 回 (2009 年)	森 悦朗 (東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学)	仙台
第 15 回 (2010 年)	新井 平伊 (順天堂大学医学部精神医学教室)	東京
第 16 回 (2011 年)	大東 祥孝 (京都大学・名誉教授／周行会湖南病院・顧問) 村井 俊哉 (京都大学大学院医学系研究科精神医学)	京都
第 17 回 (2012 年)	河村 満 (昭和大学医学部内科学講座神経内科学部門)	東京
第 18 回 (2013 年)	米田 博 (大阪医科大学総合医学講座神経精神医学教室)	大阪
第 19 回 (2014 年)	朝田 隆 (筑波大学臨床医学系精神医学)	茨城
第 20 回 (2015 年)	山田 正仁 (金沢大学大学院 脳老化・神経病態学 (神経内科学))	石川
第 21 回 (2016 年)	池田 学 (大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室／熊本大学)	熊本
第 22 回 (2017 年)	一宮 洋介 (順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター)	東京
第 23 回 (2018 年)	堀口 淳 (島根大学医学部免疫精神神経学共同研究講座)	島根
第 24 回 (2019 年)	川勝 忍 (福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座)	山形
第 25 回 (2020 年)	新井 哲明 (筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学)	※中止
第 26 回 (2021 年)	鈴木 匡子 (東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学分野)	WEB 開催

日本神経精神医学会 事務局

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワビル2F
TEL: 03-5206-7431 FAX: 03-5206-7757

第27回日本神経精神医学会学術集会

ご 挨 拶

第27回 日本神経精神医学会学術集会

会 長 下村 辰雄 秋田県立リハビリテーション・
精神医療センター病院長

COVID-19感染の再拡大の状況から、医療従事者が全国から集まる会合を開催するのは難しいと判断し、第26回日本神経精神医学会を2022年10月14日（金）から26日（土）までの2日間、完全WEB開催で行います。

今回の本学会のテーマは「前頭葉性行動障害について」で、特別講演として「前頭葉・右半球の損傷と精神・行動障害」、シンポジウムとして、「前頭葉性行動障害の症候学」（常同症、脱抑制、被影響性亢進や無為について）、と「前頭葉性行動障害をきたす疾患」（行動障害型前頭側頭型認知症、皮質基底核症候群／進行性核上性麻痺、特発性正常圧水頭症や前頭葉性行動障害の強いアルツハイマー型認知症・レビー小体型認知症について）を予定しています。

本学会の特徴は、神経精神疾患における認知・行動・情動などの問題に関わる診療科の壁を越え、討論できる場であることです。WEBの間ではありますが、多いに勉強し、語り合いたいと考えています。

学会参加者へのご案内

1. 学術集会概要

- 1) 場 所：完全 WEB 開催
- 2) ライブ会期：2022年10月14日（金）8:30～18:00
2022年10月15日（土）9:00～13:50
- 3) オンデマンド配信：2022年10月18日（火）～31日（月）

2. WEB 参加登録受付・参加費

- 1) 参 加 費：会 員 5,000円（抄録集含む）
非会員 5,000円（抄録集含まない）
※抄録集は学会登録情報を基に会員に事前配布しております。

- 2) 受付期間：～2022年10月31日（月）まで
決済方法：クレジットカード
視聴方法：LIVE 視聴可、オンデマンド視聴可

- 3) 参加方法
登録された E-mail に Web 会場への「ログイン ID・パスワード」を通知致します。
※参加証・領収書は Web 会場から PDF をダウンロードできます。

3. プログラム・抄録集の販売

一冊1,000円でご購入いただけます。数に限りがありますのでご了承ください。
希望者は、運営事務局（jna27@akita-rehacen.jp）にご連絡ください。

4. 視聴に関するお願い

ライブ会期中は参加者は zoom のチャット機能を使って自由に質問する事ができます。当日座長の指示に従ってご参加ください。
オンデマンド配信ではご質問はお受けできません。

5. 単位取得について

日本老年精神医学会認定専門医、専門心理士、上級専門心理士
更新時に参加証または領収書等のコピーを提出することによって、単位登録ができます。

日本精神神経学会専門医
大会に参加した登録氏名・所属を確認の上、単位登録手続き（3単位）が行われます（予定）。
※大会事務局より単位登録手続きをいたします

6. 理事会・評議員会・総会

各会議におけるご案内は別途郵送または E-mail を用いてご連絡いたします。
評議員会・総会においては、議決権行使による「書面決議」を予定しております。

演者・座長の皆様へ

配信方法：WEB 開催として、Live 配信を行います。また Live 配信を収録し後日オンデマンド配信をいたします。

講演時間：特 別 講 演 発表55分 質疑応答5分
 シンポジウム 発表25分 質疑応答5分
 一 般 演 題 発表 8分 質疑応答5分

進行方法：当日、セッションごとに事務局よりご案内します。

質疑応答：Live 配信中に、チャットによる質問を受け付けます。

学会奨励賞について

一般演題より優れた発表を数題選び、学会奨励賞として15日(土)に表彰いたします。受賞者には15日午前中にお知らせいたします。表彰式は13:20からの総会后、オンラインで開催いたしますので、ご参加お願いいたします。

- 第27回日本神経精神医学会では、研究・発表を推奨し、今後の学会の発展に寄与する人材を育成していくことを目的に学会奨励賞を設けております。
- 一般演題の中から2題程度を選出いたします。
- 表彰は学会2日目の10月15日(土)の閉会式と併せて行います。

〈表彰式・閉会式〉 10月15日(土) 13時20分～13時50分(予定)

10月14日金		10月15日土	
ライブ上映		ライブ上映	
8:30	8:30～ 開会の辞		
9:00	8:35～9:53 一般演題 1 O1-1～O1-6 レビー小体型認知症と鑑別診断 座長：品川 俊一郎 藤城 弘樹	9:00～11:00 シンポジウム 2 前頭葉性行動障害を来す疾患 座長：新井 哲明 演者：品川 俊一郎 渡辺 宏久 鐘本 英輝 長濱 康弘	
10:00	9:57～11:41 一般演題 2 O2-1～O2-8 前頭側頭葉変性症と鑑別診断 座長：河上 緒 橋本 衛	11:05～12:05 特別講演 脱抑制と内容特異的妄想： 前頭葉・右大脳半球病変に伴う精神・行動症状 座長：下村 辰雄 演者：西尾 慶之	
11:00	11:45～12:24 一般演題 3 O3-1～O3-3 画像関連 座長：小野 賢二郎	12:15～13:15 ランチョンセミナー 2 認知機能を考慮した高齢者うつの治療 座長：川勝 忍 演者：伊賀 淳一 共催：武田薬品工業株式会社	
12:00	12:30～13:30 ランチョンセミナー 1 認知症の診断・治療・介護に役立つ 睡眠医学的視点 座長：下村 辰雄 演者：三島 和夫 共催：エーザイ株式会社	13:20～13:50 表彰式・閉会式	
13:00	13:35～14:53 一般演題 4 O4-1～O4-6 器質性精神障害など 座長：谷向 知 寺田 整司		
14:00	15:00～17:00 シンポジウム 1 前頭葉性行動障害の症候学 座長：鈴木 匡子 演者：船山 道隆 池田 学 下村 辰雄 村井 俊哉		
15:00	17:10～18:00 イブニングセミナー パーキンソン病の診断のコツと基本的治療方針 座長：中島 一郎 演者：富山 誠彦 共催：日本メジフィジックス株式会社		
16:00			
17:00			
18:00			

プログラム

1日目 10月14日(金) Web会場

8:30～

開会の辞

会長：下村 辰雄（秋田県立リハビリテーション・精神医療センター）

8:35～9:53

一般演題 1

[レビー小体型認知症と鑑別診断]

座長：品川 俊一郎（東京慈恵会医科大学 精神医学講座）

藤城 弘樹（名古屋大学大学院 医学系研究科 精神医学）

O1-1 Wernicke 脳症が合併した Lewy 小体型認知症の1例

○片野 結加里¹⁾、宮崎 峻弘²⁾、根本 清貴³⁾、新井 哲明³⁾

1) 医療法人清風会 ホスピタル坂東、2) 東京医科大学茨城医療センター、3) 筑波大学医学医療系 精神医学

O1-2 電気けいれん療法が嚥下障害の改善に寄与したと思われるレビー小体病の1症例

○長濱 道治、三原 靖葉、錦織 光、山下 智子、河野 公範、大拙 孝治、
林田 麻衣子、岡崎 四方、和氣 玲、稲垣 正俊

島根大学医学部 精神医学講座

O1-3 レビー小体型認知症における認知の変動に関連する因子の探索的研究

○橋本 衛¹⁾²⁾、山陰 一³⁾、遠矢 俊司⁴⁾、池田 学²⁾

1) 近畿大学医学部 精神神経科学教室、2) 大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学教室、
3) 3H メディソリューション株式会社、4) 住友ファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ部

O1-4 高齢発症うつ病と Psychiatric-onset DLB：類似点と鑑別点の考察

○横山 陽香、木村 大樹、三輪 翔紀、平田 陽一、鳥居 洋太、藤城 弘樹、
尾崎 紀夫

名古屋大学大学院 医学系研究科 精神医学分野

O1-5 顕著な妄想を呈し、精神疾患と肝性脳症の鑑別診断を要した剖検例： Prodromal DLB の病理学背景の考察

○藤城 弘樹¹⁾、河上 緒²⁾³⁾⁴⁾、大島 健一³⁾、新里 和弘³⁾、鳥居 洋太¹⁾、
入谷 修司¹⁾⁵⁾、池田 研二³⁾⁴⁾

1) 名古屋大学大学院 医学系研究科 精神医学、2) 順天堂大学 精神医学、3) 松沢病院、
4) 東京都総合医学研究所、5) 桶狭間病院 脳研究所

O1-6 流暢性の原発性進行性失語を呈したレビー小体病の一例 — 意味理解障害の変動とドネペジルの効果 —

○柿沼 一雄¹⁾、岡田 友里²⁾、松原 史歩¹⁾、森原 啓介¹⁾³⁾、川上 暢子¹⁾、
菅野 重範¹⁾、太田 祥子¹⁾、川村 藍¹⁾、鈴木 匡子¹⁾

1) 東北大学大学院 医学系研究科 高次機能障害学分野、2) みやぎ県南中核病院 脳神経内科、
3) 横浜市立大学大学院 医学研究科 神経内科学・脳卒中医学

〔前頭側頭葉変性症と鑑別診断〕

座長：河上 緒（順天堂大学医学部 精神医学講座）

橋本 衛（近畿大学医学部 精神医学講座）

O2-1 前頭側頭型認知症様の行動異常を呈した
大脳辺縁系優位型加齢性 TDP-43脳症 (LATE) の1例○小林 良太¹⁾、川勝 忍²⁾、森岡 大智¹⁾、林 博史³⁾、鈴木 昭仁¹⁾1) 山形大学医学部 精神医学講座、2) 福島県立医科大学会津医療センター 精神医学講座、
3) 福島県立医科大学保健科学部 作業療法学科**O2-2** うつ病による長期入院を経て行動障害型前頭側頭型認知症の診断に至った一例○前川 翔太¹⁾、翠川 晴彦¹⁾、須藤 真紀¹⁾、関根 彩¹⁾、高橋 卓巳¹⁾、田村 昌士²⁾、
松崎 朝樹²⁾、井出 政行²⁾、根本 清貴²⁾、新井 哲明²⁾

1) 筑波大学附属病院 精神神経科、2) 筑波大学医学医療系 臨床医学域 精神医学

O2-3 気分障害で発症した後に行動障害型前頭側頭型認知症様の症候を呈した一例○黒田 望美¹⁾、田村 昌士²⁾、服部 訓典³⁾、河合 伸念³⁾、根本 清貴²⁾、新井 哲明²⁾

1) 筑波大学附属病院、2) 筑波大学医学医療系 臨床医学域 精神医学、3) 医療法人仁愛会 水海道厚生病院

O2-4 突発的な発声を呈した高齢者うつ病の2例
—うつ病と前頭側頭型認知症の鑑別に着目して—○大久保 達明¹⁾、須藤 真紀²⁾、高橋 卓巳²⁾、松崎 朝樹³⁾、田村 昌士³⁾、
根本 清貴³⁾、新井 哲明³⁾

1) 茨城県立こころの医療センター、2) 筑波大学附属病院、3) 筑波大学 精神医学

O2-5 行動障害型前頭側頭型認知症における発症年齢別の臨床病理特徴○河上 緒¹⁾²⁾、品川 俊一郎³⁾、新井 哲明⁴⁾、大島 健一²⁾、新里 和弘²⁾、
窪田-坂下 美恵¹⁾、谷口 大祐¹⁾、服部 信孝¹⁾、池田 学⁵⁾、加藤 忠史¹⁾1) 順天堂大学 医学部、2) 東京都立松沢病院、3) 東京慈恵医科大学 精神医学、4) 筑波大学 精神医学、
5) 大阪大学 精神医学**O2-6** 下肢セネステジー異常と後頭葉低血流を認めた初老期認知症の1臨床例○丹生谷 咲¹⁾、笠貫 浩史¹⁾、加来 明希子²⁾、橋本 知明¹⁾、赤羽 彩¹⁾、間野 航¹⁾、
武田 龍太郎¹⁾、古茶 大樹¹⁾

1) 聖マリアンナ医科大学 神経精神科、2) 医療法人慶神会 武田病院 精神科

O2-7 Logopenic 型進行性失語を呈した非 Alzheimer 病の1例

○柴田 修太郎、野崎 一郎、小野 賢二郎

金沢大学附属病院 脳神経内科

O2-8 意味性認知症例の縦断的な変性進展経路の検討：FreeSurfer による解析○品川 俊一郎¹⁾、曾根 大地¹⁾、高崎 昭博²⁾、小林 良太³⁾、池田 学²⁾、繁田 雅弘¹⁾1) 東京慈恵医科大学 精神医学講座、2) 大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学教室、
3) 山形大学医学部 精神医学講座

[画像関連]

座長：小野 賢二郎（金沢大学 医薬保健研究域医学系 脳老化・神経病態学）

O3-1 健常高齢者におけるヒト脳内 Glymphatic システムの活動性と海馬容積の関連の検討

○太田 深秀¹⁾、井出 亮太郎²⁾、新井 哲明¹⁾

- 1) 筑波大学医学医療系 臨床医学域 精神科、
2) 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 医学学位プログラム精神医学専攻

O3-2 認知症の改訂長谷川式簡易知能評価スケールにおける
遅延再生と物品記憶に関連する障害脳領域の同定

○東 晋二¹⁾²⁾、根本 清貴³⁾、越部 裕子¹⁾、渡辺 亮平¹⁾、宮崎 峻弘¹⁾²⁾、
内田 由寛¹⁾、庭瀬 美智子¹⁾、桜井 礼二¹⁾⁴⁾、朝田 武¹⁾⁵⁾、新井 哲明³⁾、
井上 猛²⁾

- 1) 東京医科大学茨城医療センター メンタルヘルス科、2) 東京医科大学 精神医学分野、
3) 筑波大学医学医療系 精神医学、4) 桜井病院 精神科、5) 朝田病院 精神科

O3-3 光トポグラフィー検査 NIRS による認知症のアパシーの客観的評価の試み

○川勝 忍¹⁾、林 博史²⁾、志賀 哲也¹⁾、小林 良太³⁾

- 1) 福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座、2) 福島県立医科大学 保健科学部 作業療法学科、
3) 山形大学医学部 精神科

座長：下村 辰雄（秋田県立リハビリテーション・精神医療センター）

LS-1 認知症の診断・治療・介護に役立つ睡眠医学的視点

三島 和夫 秋田大学医学部 精神科学講座

共催：エーザイ株式会社

[器質性精神障害など]

座長：谷向 知（愛媛大学 地域健康システム看護学講座 老年精神地域包括ケア学）
寺田 整司（岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 精神神経病態学）

O4-1 高用量抗パーキンソン病薬の減量中にコタール症候群を呈した
パーキンソン病患者の一例

○森岡 大智¹⁾、小林 良太¹⁾、川勝 忍²⁾、坂本 和貴¹⁾²⁾、鈴木 昭仁¹⁾

- 1) 山形大学医学部 精神医学講座、2) 福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座

O4-2 脳神経外科手術後に躁状態を呈した2症例の検討

○佐久田 静¹⁾、寺田 徹¹⁾、宮内 正晴²⁾、吉岡 宏真²⁾、橋本 衛¹⁾

- 1) 近畿大学病院 メンタルヘルス科・精神神経科学教室、2) 近畿大学病院 脳神経外科

O4-3 双極性感情障害を呈した特発性正常圧水頭症の1症例

○伊関 千書¹⁾、森岡 大智²⁾、猪狩 龍佑¹⁾、佐藤 裕康¹⁾、小林 良太²⁾、園田 順彦³⁾、
太田 康之¹⁾

1)山形大学医学部 第三内科、2)山形大学医学部 精神医学講座、3)山形大学医学部 脳神経外科学講座

O4-4 アルコール使用障害にペラグラを併発した1例

○齋藤 裕介¹⁾、赤羽 隆樹²⁾、能登 契介²⁾、小林 良太¹⁾、鈴木 昭仁¹⁾

1)山形大学 医学部 精神医学講座、2)公立置賜総合病院 精神科

O4-5 アルコール使用障害に伴う脳梁体部の菲薄化が疑われた一例

○野崎 海央¹⁾、松崎 朝樹²⁾、根本 清貴²⁾、新井 哲明²⁾

1)筑波大学附属病院、2)筑波大学医学医療系 臨床医学域 精神医学

O4-6 Znを追加することで軽快した音楽性幻聴を認めた1例

○佐藤 晋爾

筑波大学医学医療系 茨城県地域臨床教育センター 精神科

15:00～17:00 シンポジウム1

座長：鈴木 匡子(東北大学医学系研究科 高次機能障害学)

[前頭葉性行動障害の症候学]

S1-1 常同行動

○船山 道隆

足利赤十字病院 神経精神科

S1-2 脱抑制

○池田 学

大阪大学大学院 医学系研究科 精神医学分野

S1-3 被影響性の亢進

○下村 辰雄

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

S1-4 アパシーについて

○村井 俊哉

京都大学大学院 医学研究科・精神医学

座長：中島 一郎（東北医科薬科大学 老年神経内科学）

ES パーキンソン病の診断のコツと基本的治療方針

富山 誠彦 弘前大学医学部 脳神経内科

共催：日本メジフィジックス株式会社

座長：新井 哲明（筑波大学医学部 精神神経科）

〔 前頭葉性行動障害を来す疾患 〕

S2-1 前頭側頭型認知症における前頭葉機能障害とは何か？

○品川 俊一郎

東京慈恵会医科大学 精神医学講座

S2-2 CBD/PSP における前頭葉性行動障害

○渡辺 宏久

藤田医科大学医学部 脳神経内科学

S2-3 特発性正常圧水頭症（iNPH）における前頭葉障害

○鐘本 英輝

大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室

S2-4 前頭型アルツハイマー病と前頭型レビー小体型認知症

○長濱 康弘

かわさき記念病院 副院長

座長：下村 辰雄（秋田県立リハビリテーション・精神医療センター）

脱抑制と内容特異的妄想：
前頭葉・右大脳半球病変に伴う精神・行動症状

西尾 慶之 東京都立松沢病院 精神科・脳神経内科

座長：川勝 忍（福島県立医科大学 会津医療センター・精神医学講座）

LS-2 認知機能を考慮した高齢者うつの治療

伊賀 淳一 愛媛大学医学部 精神医学科学講座

共催：武田薬品工業株式会社

13:20～13:50 **表彰式・閉会式**

表 彰 式

司会・進行：小林 良太(山形大学医学部 精神医学講座)

次会大会長挨拶

第28回日本神経精神医学会学術集会

大会長：新井 哲明(筑波大学医学医療系 臨床医学域精神医学)

閉 会 の 辞

会 長：下村 辰雄(秋田県立リハビリテーション・精神医療センター)

Handwriting practice lines consisting of 24 horizontal dashed lines.

抄 録

脱抑制と内容特異的妄想： 前頭葉・右大脳半球病変に伴う精神・行動症状

西尾 慶之

東京都立松沢病院 精神科・脳神経内科

前頭葉や右大脳半球の病変に伴って、いくつかの定型的な精神・行動症状が出現することが知られている。脱抑制は衝動制御の低下や他者の感情・モラル・社会規範に対する無関心さなどによって特徴づけられる行動症状で、前頭葉病変に伴って生じる代表的な精神・行動症状である。妄想性誤認、身体パラフレニア、片麻痺の否認は単一のテーマに限局した内容特異的妄想で、右大脳半球病変との関連性が強い。内容特異的妄想は、家族や親しい友人などの近親者、自己身体の一部などの限定された対象についてのみ生じるという特異な特徴を有している。

脱抑制や内容特異的妄想的病態に関しては、これまでにいくつかの認知心理学的・認知神経科学的な仮説が提唱されてはいるものの、背景にある心理過程・神経機能の異常が十分理解されるには至っていない。そのため、これらの症状の診断や治療は、他の精神症状と同様、類型分類に基づいて行われているのが現状である。

本講演では、脱抑制や内容特異的妄想的現象面の特徴を再検討し、これらの症状と無関心・病識低下の関係を論じる。また、これらの症状の背景にある心理過程・神経機能を、Damasio が情動生理反応の心的表象として定義付けた“フィーリング”の概念を用いて解釈することを試みる。

O1-1 Wernicke 脳症が合併した Lewy 小体型認知症の1例

○片野 結加里¹⁾、宮崎 峻弘²⁾、根本 清貴³⁾、新井 哲明³⁾

1) 医療法人清風会 ホスピタル坂東

2) 東京医科大学茨城医療センター

3) 筑波大学医学医療系 精神医学

【目的】うつ病と診断されていたが、Lewy 小体型認知症と Wernicke 脳症の合併と考えられた症例を経験した。

【倫理的配慮】プライバシー保護に配慮し、個人が特定されないよう留意した。また、本人・家族から発表について同意を得た。

【症例】60代女性。X-6年にめまいと頭痛を訴え数週間休職し自然軽快した。X年7月まではサービス業に従事していた。X年7月に胃部不快感を訴え摂食量が減少し、A病院で上部消化管内視鏡検査を施行されたが異常を指摘されなかった。めまいを訴え意識消失し転倒することが続き、B病院に入院したが症状は消長した。C病院精神科を受診しうつ病の診断でミルタザピンを開始されたが、流涎が目立ち中止された。著しい体重減少を来し、紹介されX年9月にD病院に転入院となった。入院時、低血圧を伴うい瘦が著明で、見当識障害と記憶障害を認めた。脳波は全般性に徐波化し、血液検査ではビタミンB1と電解質の低値を認めた。頭部MRIでは中脳水道周囲の高信号を認め、脳血流SPECTでは左海馬、左後頭葉、前頭葉、前頭前野の血流低下を認めた。ドパミントランスポーターSPECT及びMIBG心筋シンチグラフィで線条体および心筋での核種の取り込み低下を認めた。以上より、Lewy小体型認知症にWernicke脳症が合併していると考えられた。Wernicke脳症に対しビタミンB1の補充を行った。抑うつ症状に対してはデュロキセチンと修正型電気けいれん療法を併用し、抑うつ気分は改善した。起立性低血圧に対してドロキシドパを使用した改善を認めなかった。認知機能障害、摂食不良には十分な改善を認めず、X+1年2月に転院となった。

【考察】高齢者のうつ状態の背景に認知症を考慮することの重要性は知られているが、摂食不良、い瘦、意識消失などが認められる場合には、Wernicke脳症の合併も念頭に置くことの重要性が示唆された。

次回学術集会のご案内

- 名 称 **第28回日本神経精神医学会学術集会**
The 28th Annual Meeting of the Japanese Neuropsychiatric Association
- 会 長 **新井 哲明** (筑波大学医学医療系 臨床医学域精神医学)
- 会 期 **2023年12月9日(土)～10日(日)** (予定)
- 会 場 **つくば国際会議場**

第27回日本神経精神医学会学術集会 プログラム・抄録集

頒布価格：1,000 円

発 行 日：2022年□月□日

会 長：下村 辰雄

事 務 局：秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
事務局担当：高橋 敏弘 (医療相談連携室)
〒019-2492 秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田 352
TEL：018-892-3751
E-mail：jna27@akita-rehacen.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

第27回 日本神経精神医学会学術集会 事務局

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

事務局担当：高橋 敏弘（医療相談連携室）

〒019-2492 秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田352

TEL：018-892-3751

E-mail：jna27@akita-rehacen.jp